



### 第 46 号

発 行 者

社 団 法 人 古 賀 市  
シ ル バ ー 人 材  
セ ン タ ー 広 報 委 員 会

古 賀 市 千 鳥 2 丁 目 21 - 3  
T E L 9 4 2 - 6 9 9 4  
F A X 9 4 2 - 6 9 0 2  
e-mail silver @ kogasc.com

# 基本理念 自主・自立・共働・共助

## 平成 23 年度通常総会開催

(平成 23 年 5 月 24 日 古賀リーパスプラザ)

### 審議内容

- 1 号議案 平成 22 年度事業報告について
- 2 号議案 平成 22 年度決算報告及び監査報告について
- 3 号議案 平成 23 年度事業計画 (案) について
- 4 号議案 平成 23 年度収支予算 (案) について
- 5 号議案 役員の選任 (案) について
- 6 号議案 公益社団法人移行のための定款の変更 (案) について
- 7 号議案 公益社団法人移行当初の役員 (案) について
- 8 号議案 公益社団法人移行当初の代表理事の選任 (案) について
- 9 号議案 役員の報酬および費用に関する規程 (案) について
- 10 号議案 会費規程 (案) について
- 11 号議案 事務費規程 (案) について



上記第 1 号議案から第 11 号議案まで、各議案毎に審議しそれぞれが満場一致で承認可決された。

### 理事長の挨拶



理事長 園 靖則



会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。私はこの度、5月の通常総会において、松本前理事長の後任として理事長を仰せつかりました。

さて、日本の総人口が減少する中で高齢者の増加により、社会保障費の増大、労働力の不足、技術・技能の伝承などの課題が考えられます。

こういう現状の中で、古賀市シルバー人材センターの果たす役割も益々重要になって来ます。シルバー人材センターの目的には、会員の皆様方のこれまで経験で培われた知識や技能・技術・能力・資格を有効に生かして、仕事をすることによって社会貢献を図り、活力ある地域社会づくりに寄与することで、会員の皆様の生き甲斐を充実させることが出来ます。

しかしながら、最近、シルバー人材センター事業に対し、国の事業仕分けによる補助金の減額などの財政面での危機をはじめ、社団法人から公益法人への移行、契約額の減少など多くの課題を抱えています。

これらの課題に対しては、ひとつひとつ解決すべく努力していかねばならないと考えています。また、会員の皆様におかれましては、センターの事業に積極的に参加して健康で有意義な人生を送ることが大切なことではないでしょうか。

私も、理事長の職を通して、今後とも皆様のご協力を得ながら頑張りたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 役員の紹介

理事長 園 靖則	理事 小松 勲二 福祉家事援助サービス推進委員	理事 岩田 一夫 適正就業推進委員
理事 義経 晃 適正就業推進委員	理事 三苫 光男 安全就業推進委員	理事 西澤 康夫 就業開拓創出委員
理事 吉村 清彦 広報委員	理事 豊永 繁考 安全就業推進委員	理事 楢崎 辰雄 就業開拓創出委員
理事 結城美智子 広報委員	理事 五十嵐聖子 福祉家事援助サービス推進委員	理事 矢野 明 シルバー人材センター事務局長
監事 吉村敬四郎	監事 田辺 一男	

### 地域世話人の紹介

地域班	世話人氏名	地域班	世話人氏名	地域班	世話人氏名
小野校区A	長野太三義	久保西	緒方 鐵雄	古賀北・南	高原 正治
小野校区B	小塚 義輝	中央古賀団地	和田 敏一	古賀北・南	花田慶太郎
小野校区B	神山 利治	庄	岩永 信正	花 鶴 丘	大坪 茂樹
青柳校区	淵上 三義	庄	渡辺九州男	古賀東	酒井 泰
青柳校区	森田 誠一	花見南	橋本 憲明	花見東	石井嘉一郎
筵 内	吉村 清彦	中 川	安木正太郎	花見東	浜田 義康
久保・高田	渋谷 昇	日吉・鹿部	石塚 輝彦	千鳥・舞の里	北島 崇雄
				千鳥・舞の里	広渡 常信

### 企画提案形事業の紹介



#### そろばん教室

毎週火・金曜日の15:00～17:00、藤井スミ子会員が11名の子どもたちと、楽しくお勉強しています。

#### リサイクルクラブ「芽ぶきの会」

毎週月・水曜日の10:00～16:00、新しく生まれ変わる作品に感動しながら8人で活動しています。ちょっと覗いてみませんか！



## 会員の声

### われらのシルバー農園

渡辺 照代会員

シルバー農園は、現在 12 名の会員で管理運営をしています。それぞれにあたえられた場所で自由に野菜を作り、また、共同で作る場所は、年間作る作物をきめています。そういう中で昨年 10 月に、近くの久保保育所の園児や先生を招いてサツマイモ掘りを実施しました。(園児 52 名、先生 6 名)「来年も楽しみ」と言う園児や家族の声に会員も大変満足でした。

それから 3 月下旬に菜の花摘みを行い、これも久保保育所の園児を招きました。(園児 57 名、先生 6 名) 筵内の菜の花まつりが中止になったので、シルバー農園の花まつりはささやかではありましたが、子どもたちはとても喜んでくれました。今年は広いスペースを取りコスモス、菜の花の種をまいています。

また、春に収穫した、じゃがいも、玉ねぎは計画どおりに市立保育所へ食材提供として持って行きました。現在は、サツマイモ、アズキの植え付けをしています。秋の収穫時期が来たら、また子どもたちやいろいろな施設の方々とふれあっていきたいと、今から楽しみにしています。

シルバー農園に来てみませんか。お待ちしております。

藤井スミ子会員

### シルバーセンターでそろばん

約 1 時間の練習を週 2 回、これだけの積み重ねで子どもたちが少しずつ上達していくのを見るのが私の喜びです。「そろばんで育つ」の言葉通り、上達するにつれて、落ち着きや粘り強さ、向上心の強さなどもそだってくるように思います。休まず通えるように支えて下さる保護者との二人三脚のそろばん指導です。時間になると駆けこんでくる子供たち、読み上げ算や暗算に盛り上がる時、時間を計って一心に取り組んでいるのを見ると、沢山の感動があります。

70 歳に近い年齢ですが、子供への情熱と教えることの喜びがある間はまだ定年が来ないのかなと思っています。センターからフラッシュ暗算用のパソコンや大そろばんを買って頂き、応援して下さっていることがわかり、感謝しています。

おじいちゃん、おばあちゃんが主役のシルバーセンターに子供の声が聞こえるのもごく普通のことになりました。会員の皆さんから声を掛けていただくのもありがたいことです。皆さんの見守りの中で練習できる子供たちは幸せです。

センターにはお迎えのお母さん方も出入りします。老いも若きも気軽に出入りして、仕事をする、依頼する等の交流が自然に出来るコミュニティ的存在になればいいなと思っています。

### 剪定班に入りました

村中 英二会員

昨年の暮れ、四十数年の海上生活に別れを告げ、半年以上の陸上生活は学生生活以来です。しばらくはゆっくりしてからと考えていましたが、いざ求職活動をしたものの思う様な仕事が見つからず、いつまでもダラダラしては身も心もダメになると思い、いずれはシルバー人材センター会員を考えていたので、4 月に入会しました。以前から剪定に興味があったので早速班に入れてもらいました。古賀市に住んでまだ 2 年余りで地理にもあまり詳しくなく、また剪定道具を揃えたりと色々大変でした。良き先輩指導者に恵まれ、健康に注意し安全第一で、一日でもながく会員でいられるようにボチボチ頑張ろうと思っています。

「追伸」苦手な作文を書くことなど何十年ぶりかで、何を書いて良いかわからず、やっと考えながらこれだけ書きました。これからは文章を書くことや読書すること等を頭のすみに入れて生活したいと思っています。

## 安全就業に対する意識向上で表彰される！！

平成23年7月22日（金）、安全就業強化月間の主要行事として県連合会主催の「安全就業促進大会」が、大博多ホールで開催されました。

今回も安全標語を募集し、県連合会へ応募しておりましたが、残念ながら入賞にはあたりませんでした。しかし、会員の皆さんの障害事故について、事故減少に努力し著しい成果が認められ、当センターを代表して園理事長が安全就業センター表彰を受けました。

また、「安全就業の取り組み」と題して当センターの江尻会員（剪定）が、事例発表をされました。体験に基づき素晴らしい発表でした。



大会風景

発表する江尻会員

表彰風景（左から2人目が園理事長）



## 事務局だより

### 土・日・祝日の緊急連絡先について

事務局長 矢野 明 942-6298  
 次 長 青柳彰造 942-4316

業務（シルバー携帯 堀） 090-5484-7114  
 業務（シルバー携帯 力丸） 090-2598-6701

## ボランティアの案内

まつり古賀に出店のための品物づくりを次の日程で行います。皆様ご参加ください！

### ○銀杏拾い・洗い

10月16日（日）8：00 シルバー集合  
※天候により実施日が変更になることがあります。事前にご確認ください。

### ○竹細工（竹とんぼ・カップン）

10月24日（月）9：00 シルバー集合

### ○銀杏袋詰め

11月4日（金）9：00 シルバー集合

### ○和服・古着のリサイクル

毎週月・水曜にシルバーで行っています。

## 編集後記

限られた時間の中で、少しでもシルバー人材センターのことを理解して頂けるような紙面作りをしたいと46号発刊にむけて頑張りました。

ご寄稿頂きました会員の皆様有難うございました。

これからも会員一人一人の方がもっと親しみを持てるそんなシルバーだよりを作っていきたいと思っています。

今後共よろしくご指導下さいます様お願い致します。

M・I

